

2分間スピーチの原稿の書き方

2分間スピーチの原稿を書くことができると、キミのコミュニケーション力は確実にアップします。

1分間をゆったりと話すための字数は、300字です。
2分間スピーチの原稿は、300字×2分間＝600字になります。

スピーチの原稿は、「、」「。」「段落」を意識して書きます。
話しをするとき、「、」は1、「。」は2、「段落」は3という「間」を入れます。
「間」を入れることで、話しが絞まり、メリハリをつけることができます。

メリハリのある原稿を書くための極意

文章を書く。大切なことは、難しく考えないことです。
文章は、書き込めば書き込むほど、うまくなります。

次のことに注意して、文章を書くことを楽しんでください。

1. 一に推敲（すいこう：文章の字句や表現をいろいろ苦心して練り直すこと）、二に読んでみる
 - 他人からアドバイスをもらい、素直に意見を聞く
2. 一文は短く、ただし、フツ切りにならないように工夫する
3. 「が」は、できるだけ使わない
 - 順接、逆接（しかしながら）の両方の意味に使えるので不明確になる
4. 話をする本人が「私」です。「私」は、くどくなるので、できるだけ使わない
5. 改行することで意味が通じるのであれば、接続詞は使わない
 - 接続詞を多用すると、文章は固くなる
6. 同じ単語・同じ言い回しは避ける
 - 600字程度の短い文章では、文中に、同じ単語・同じ言い回しは使わない
 - 文末も、同じ言い回しで終わらせると単調になる
7. 辞典を活用すること
 - 机上にあれば役にたつもの
国語辞典 漢和辞典 類語辞典 反対語辞典
カタカナ辞典 故事・ことわざ辞典 語学関係の辞書
 - あればベターなもの
古語辞典 季語辞典 年表（日本・世界） 理科年表 地図（日本・世界）

原稿を書くために、色々と調べていると頭の中に引き出しがたくさんできます。
引き出しがたくさんできると、自信が付きます。
自信が付くと、堂々と話すことができるようになります。

肝心なことは、書いたものを仲間の目にさらすことです。

同じテーマで原稿を書いて、スピーチをして、お互いの良いところを見つけ合えば、キミたちのコミュニケーション力は本物になるのです。